



1月31日発行

URL:<https://www.y-nakamura.jp/>

TEL 083-922-0418

文責 鶴永幸彦

令和8年度より「普通科」「商業科」も共学化



1月8日(水)3学期の始業式の式辞後、「普通科」「商業科」の共学化に関して、生徒たちに発表しました。驚きの声の一部上がりましたが、大きな反響はありませんでした。多くの生徒たちは予想していたのかもしれませんが。

翌9日(木)全面共学化に向けた記者発表を行いました。多くの報道機関が取材に来られました。事前の問い合わせ等があまりなく、関心が高くはないのかと置いていたため、嬉しく感じました。保護者の方もその様子について、テレビや新聞等で目にされたことと思います。

女子専門の教育機関として、158年目を迎えた本校ですが、初代設置者の中村ユス先生から引き継がれている伝統と教育信条「新しい時代にふさわしい学問技術に励むと共に、情操豊かで礼儀正しく、明朗で実践力に富む生徒の育成」を大切にしながら、新たな歴史を教職員一丸となって紡いでいきたいと考えています。

今後ともどうぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度入学者選抜終わる

令和7年度の生徒募集に関して、1月7日(火)推薦入試(校長推薦・自己推薦)、2週間後の21日(火)に一般入試を実施しました。どちらの入試においても昨年度を上回る受験生があり、大変嬉しい状況でした。

5学科のうち、社会において男性人材の育成が求められている「看護」「福祉」「調理」の3学科を共学化したことが、直接的にまた間接的に受験者数の増加につながった一因と捉えています。今後も中学校卒業生徒が減少していく状況が続く中、生徒数確保が大きなそして重要な課題でもあります。最終的な入学者数は現時点では明確ではありませんが、一人でも多くの中学生が入学してくれることを願っています。

引き続き、中学生から行きたいと思われ、選ばれる学校としての魅力を一層高めていきたいと思っています。

2月 主な行事

新学期が始まったと思ったらもう2月に入ります。3年生は、期末考査が終わり、家庭学習に入ります。1・2年生は月の終わりに期末考査があります。学年の締めくくりと、次年度に向けた展望について家族で話したりできるとよいと思います。

日	曜	内 容
3	月	朝読週間 (~14)
5	水	3年登校日
7	金	漢字検定(F1)
8	土	数学検定
12	水	3年登校日
16	日	第13回吹奏楽部定期演奏会

日	曜	内 容
19	水	期末考査時間割発表
20	木	3年登校日、質問の日
21	金	いじめ問題取組状況検討委員会
26	水	期末考査①
27	木	期末考査②、3年登校日
28	金	卒業式予行、同窓会入会式

“麦踏み” 麦は踏まれて強くなり、試練が人を強くする

山口市南部では、毎年多くの田で麦が植えられます。そして、寒さが最も厳しくなる時期、その苗を踏み付け、(現在はトラクターにローラーを付けて押さえる) 茎を折る作業が行われます。このことを「麦踏み」と言います。

なぜ麦踏みを行うのかと言う理由は、インターネットにもたくさん掲載されていますが、簡単に言えば麦を踏むことにより、傷が付いてエチレンという植物ホルモンが発生して、茎が太くなり風で倒れにくく、さらに枝分かれもして活性化することや、耐寒性や耐干性が増して強い麦になるということです。

人間も若い内に、ある程度の苦労や試練を経験することは、大人になり社会人として立ち立ちをしていくうえで、少しのことではへこたれない精神力や忍耐力を身に付けるために重要だと思います。親はいつまでも子どもと二人三脚で人生を歩んでいくことは難しく、「親」という字の次のような解釈「木の上に乗って、子の将来を見通す。」にあるように、将来を案じて、立ち立ちできるように、必要となる力を育ていけるよう、年齢に応じて時と場と状況を考慮して、育みつけていくことが大切だと思います。子の幸せは親の願いであり、幸せになる考え方や力を育ていくことが親の重要な役割の一つだと思います。「子は言ったようには育たず、やったように育つ」とは名言で、反省させられます。

いい本は人生を豊かにしてくれる

著者は大学生の時、まだマザー・テレサが生きておられるときに、その施設でボランティアをされた経験をお持ちです。そして、マザーに勧められ人生を大きく転換され、神父となられた方です。現在はカトリック宇部教会に所属されています。下に紹介した著書だけでなく、多くの本を出版されていて、それらの本はたくさんの気づきを与えてくれて意識が高まったり、元気や勇気が湧いてきて自分に対して自信が増してくる感じがします。



『あなたはあなたのままでいい』 っておきの聖書のことは23』 片柳弘史 著 光文社
 聖書の言葉を、具体的な例を引いて丁寧にわかりやすく説明されています。深いメッセージ性があり、読み進めるうちに心が軽くなったり、癒やされたりします。イラストも曲線を重視し、色使いも明るく、見ているだけで心が和みます。人に優しくなる感じもします。自分を大切にできる、許せる人こそ、他者も大切にでき、許すことができる、そう思いました。